



広報

MATSUYAMA CITY

まつやま

平成23年 2011.01.01

No.1189

主な内容

- 第12回コムズフェスティバル…3面
- 地域見守る「青パト」活動中! ……2面
- 子規顕彰小中高生俳句大会作品紹介…4・5面
- 市民ガイド ……6・7面

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

市勢 平成22年12月1日現在推計(前月比) ●面積:429.04km² ●人口:516,637人(+61) ●男:241,792人 ●女:274,845人 ●世帯数:228,272世帯(+104) ●一世帯の平均:2.26人 ●人口密度:1,204人/km²



伝統的なもちつきに笑顔がこぼれる児童



つくたてのもちを夢中でほおぼる園児



新春 2011

「コトシは、みんながほおぼれる」笑顔

正月や節句など、季節の行事や祝い事などに欠かせない「もち」。中でも、正月のちは新年を迎える準備として年の暮れにつくものといわれ、もちつきは年末の風物詩となっています。

坂本小学校でも一足早く、恒例のイベント・もちつきを、地域の高齢クラブやPTAの皆さんと一緒にいたしました。毎年、5年生が主体となり実施しているもので、自分たちが作ったもち米を使います。

会場は、坂本幼稚園の園児も参加し、大にぎわい。「ヨイシヨ、ヨイシヨ」の掛け声に合わせてきねと臼でもちをついたり、つくたてのもちを丸めたりしました。もちつきの経験が少ない幼稚園や低学年の子どもたちは、きねの扱いに悪戦苦闘しましたが、自分たちでついたもちの味は格別なようで、きな粉やしょうゆなど、好みの味付けでもちを満足気にはおぼっていました。

保存してください。じかまた お役に立ちます

新しい年は、まさに地域主権改革の大きなうねりの中で始まり、国・地方と言わず、大きな転換期を迎えております。

振り返ると昨年は、国を挙げて景気対策に取り組んだ一年でしたが、依然として景気の低迷や厳しい雇用情勢が続いています。一刻も早い回復を望むところでございます。

このような、まさに激動のとき、松山市議会といた



あけまして
おめでとございます

昨年11月末に、多くの皆さんのご推挙をいただき名誉ある第30代松山市長に就任し、初めての新年を迎えました。

近年の社会を取り巻く状況は依然として厳しく、景気・雇用や社会保障など多くの課題を抱えています。

このような中、本市においては「一人でも多くの人を笑顔に全国に誇れる、わがまち松山」を目指し、市民の皆さんが主役のまちづくりを進めてまいります。

まずは、直接皆さんの声を聞かせていただき、市政に生かしていくため、市内各地区でタウンミーティングを開催いたします。

また、まつやま農林水産物ブランドを自らのトップセールスにより全国発信するとともに、クリーンエネルギーやIT環境などを活用した新規産業の育成・支援を行い、企業誘致による雇用の創出、産業の活性化を目指します。

わたしの大好きな松山が笑顔あふれるまちになるよう、一所懸命、市政運営に努めてまいります。

松山市長
野志 克仁



松山市議会議長
田坂 信一